

のみたより

2007
第12号



声援を背に、熱戦がくり広げられる和田山相撲大会
(平成19年度 戦没者慰霊式奉賛能美中学校相撲大会)

◆ 定例会報告	2
◆ 一般質問	3
◆ 討論	9
◆ 委員会報告	10
◆ 編集後記	12

発行日:平成19年7月27日
発行:能美市議会
編集:広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎
石川県能美市来丸町1110番地
TEL: (0761) 52-8007 (代)
FAX: (0761) 52-8022
E-mail: gikai@city.nomi.lg.jp

平成19年第2回 定例会報告 (会期:平成19年6月12日～28日)

中野眞治郎議員が新議長に就任しました。

議長就任あいさつ



議長 中野 眞治郎

本年第2回定例会において、議員各位のご推挙を頂き、議長の要職に就任いたしました。浅学非才な私にとっては身に余る光栄であり、責任の重さをいまさらながらに痛感し、身の引き締まる思いでございます。このうちは決意を新たに、能美市の更なる発展と議会の円滑な運営に懸命の努力を傾注する所存でございます。

能美市も誕生以来3年目を迎え、昨年の第4回定例会において、能美市の将来像である「海山川の恵みと人が輝くやすらぎのまちづくり」に向けての、基本構想、基本計画が承認され、本年度より計画が実行に移されております。

本年をまちづくり元年と捉え、その実現に向け、各種事業を積極的に展開されている酒井市長をはじめ執行部を議会として支えてまいります。

最後になりましたが、市民の皆様の議会へのご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

審査結果一覧

	案 件 名	採決結果
条例議案 (5件)	能美市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	可決(全会一致)
	能美市行政財産使用料条例及び能美市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	能美市自家用有償バス条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
	能美市教育センター条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
報告案件 (7件)	専決処分の報告について(能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて)	承認(賛成多数)
	専決処分の報告について(平成18年度能美市一般会計補正予算(第8号))	承認(全会一致)
	専決処分の報告について(平成18年度能美市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	承認(全会一致)
	専決処分の報告について(平成18年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号))	承認(全会一致)
	専決処分の報告について(平成18年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号))	承認(全会一致)
	専決処分の報告について(平成18年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算(第2号))	承認(全会一致)
	専決処分の報告について(平成19年度能美市老人保健特別会計補正予算(第1号))	承認(全会一致)
議会議案 (1件)	異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書	可決(全会一致)

委員会組織が一部変わりました。

●議会運営委員会

◎杉田隆一 ○青山利明 荒田正信 高木雅宣 白川 寛 米田敏勝 北村國博

●総務常任委員会

◎白川 寛 ○小手川正明 明福憲一 金森修栄 北角耕一 荒田正信 嵐 昭夫

●広報特別委員会

◎小手川正明 ○嵐 昭夫 倉元正順 北野 哲 福田 豊

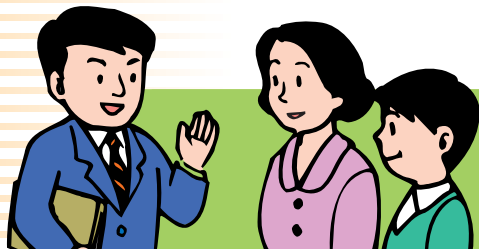
●能美古墳群保存整備特別委員会

◎井出善昭 ○嵐 昭夫 青山利明 荒田正信 近藤啓子 米田敏勝

◎委員長 ○副委員長

※上記以外の委員会には変更ありませんでした。





一般質問 (11人が登壇)

米田 敏勝
議員



Q 中高年者の能力を
IT活用で生かせ

大量退職される団塊世代の
技能や能力を生かすため、資
格や経歴を登録し、必要な時
に求められる人材を市内企業
や地域社会に即提供できる
—IT情報網を整備せよ。

A 退職者の専門的技術
を把握し、就労支援
体制確立を図りたい (市長)

シルバー人材センターがホー
ムページの立ち上げ準備を進
めており、これらと連携しな
がら情報の公開に努めるとこ
もに就労支援体制の確立を図っ
ていきたい。

Q ふるさと能美を育む
社会科教育を

小学生の頃から地元の伝統
工芸や産業について学ばせ、「ふ
るさと能美」に関心や愛着心
を育む社会科教育を積極的に
進めよ。

A 今後もふるさと学習
を推進したい。(教育長)

小中学校において、ふるさと
学習は活発に行われている。
教育委員会としてもその支援
として社会科副読本「ふるさと
学習マップ」「能美ふるさと
ガイド」を作成、配布した。
来年度も市全域を学習の場と
する事業として積極的に展開
したい。



▲ ふるさと学習副読本

倉元 正順
議員



Q 九谷焼陶芸館の利用
を促進せよ

九谷焼陶芸館の活用の施策
として、将来の担い手である
子どもたちに九谷焼のよさを
身をもって知ってもらうため、
市内小学生の学習の一環に九
谷焼の体験学習を取り入れる
ことができないか。

A ふるさと振興公社と
連携し、市民にアピー
ルしていきたい (教育長)

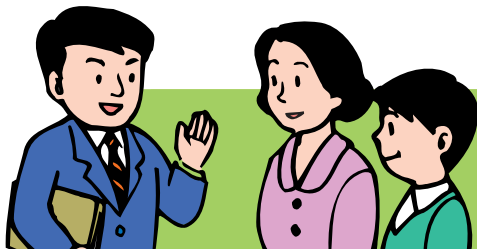
昨年陶芸館を訪れて作陶及
び絵付体験を行った小学校は
市内8小学校のうち7校で
小学校の社会科及び総合学習

での実践活動として取り入れ
られた。また、市学校教育研
究会、総合学習部会の先生方
も作陶体験に訪れており、地
元湯野小学校では全学年を通
して陶芸に対するプランを計
画、実践している。

教育委員会生涯学習課ジュ
ニアサークルの陶芸サークル
では70名が陶芸館で毎月1
回活動をしている。参加者は
去年より20名多く、辰口、
根上地区からも多くの参加を
得ている。

辰口地区では3児童館で
陶芸サークルを開催しており、
九谷焼陶芸館以外の場所では
あるが100名近い児童が
毎月1回活動をしている。

寺井中学校、寺井高校では
陶芸クラブがあり九谷焼陶芸
館を利用している。今後はふ
るさと振興公社と連携し地域
の公民館活動にもPRする他、
学校に関しては引き続き、ふ
るさと学習の一環として展開
していきたい。



一般質問

明福 憲一 議員



Q 防災センターの検討・整備を

防災センター整備について、進捗状況と取り組み、消防広域化に伴う市の見解は。防災行政無線など、通信手段確保のためどう対策を講じるのか。

A 防災行政無線デジタル化が課題である(市長)

防災行政無線デジタル化のため県や総務省に財政支援策実現化の働きかけができないか模索中である。

消防広域化については県作成の広域化推進計画を見きわめ検討したい。

能登半島地震発生後、電話回線の不通や防災行政無線の

連絡に不都合を生じたが、庁舎間の内線電話やパソコンネットワークで対応できた。災害時不可欠のシステムとして無線局の一元化や有効活用化に向けて検討中である。

Q 里地・里山・里海運動の推進を

総合計画の「海山川の恵みと人が輝くやすらぎのまちづくり」のタイトルどおり、中山間地、平野部、海岸まで地域づくり活動を広げ、より良いふるさとづくりを支援できる対策室設置を検討せよ。

A 海岸部まで活動を広げたい(市長)

能美里山ファン倶楽部に代表される里山活動が海岸部まで広がるよう努力する。

水田耕作地としての平地の環境にも危機感を持つ。海岸や農地の自然環境保全に留意したい。

担当窓口のあり方も先進地の事例調査を含め検討する。

北野 哲 議員



Q 公共施設の耐震化促進を

市の公共施設の耐震工事状況はまだ低い。各分庁舎は辰口庁舎のみで、小中学校では辰口中、宮竹、湯野小は未工事であり、ほとんどのスポーツ施設、学習施設、保育園、児童館、老人福祉センター、地区公民館、C・C館等多くの施設が耐震化されていない。

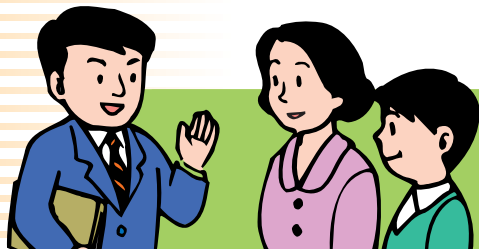
特に老人、子どもたちが使用する施設を早急に対応すべきである。

また洪水発生時に備え、各校下に1、2ヶ所の避難施設を整備すべきと思うが見解を問う。

A 基幹的で緊急性の高い施設から進めたい(市長)

市所有施設のうち昭和56年建築基準法改正前の建築年度の古い小中学校は順次耐震化工事を実施している。寺井地区公民館やはまなすの丘、市立病院も実施済みである。今後、未実施施設の耐震化は市地域防災計画もふまえ、基幹的で緊急性の高い施設から進めていくが、財源確保に知恵を絞り対応する。今年度、耐震改修促進計画を策定し、住宅等の耐震補強改修工事に対し助成制度を設けている。

水害時等の一朝有事の際は避難指示や勧告により施設への誘導が基本であり、身近な公共施設を指定しているのは短時間に避難できるという趣旨からである。家庭で避難経路などの話し合いの場が生まれることを期待している。



一般質問

小手川 正明 議員



Q 災害に強いまちづくりを

震度6以上の地震があったらどんなことになるのか。手取川が氾濫したらどうなるのか。地域ごとの自主防災組織の設置、拡大が課題であると、認識しているがどうか。

A 町会、町内会での組織的な協力が不可欠である（市長）

能美市の自主防災組織は根上地区に8組織、辰口地区に1組織の合計9町会で結成されている。今年度に3町会が準備をしていると聞いているが、まだまだ少ないので町会への設置および活動強化を働きかけていきたい。

Q 洪水ハザードマップの活用方法は

先般各家庭に配布された「手取川・梯川洪水避難地図」を活用するにはどうすべきか。自治組織、自衛消防団等へのレベルアップのためにも集落を包含した避難訓練などが必要ではないか。

A 防災意識啓発のきっかけに（市長）

表面の地図は洪水が起きたときの浸水深や避難箇所、がけ崩れなどの危険箇所を示し、裏面は水害発生時に対する心構えやとるべき行動などについて記入してある。日頃から家庭、家族で話し合いを持っていただきたいと願っている。市民参加による避難訓練なども実施し、いろいろな機会を通じ、水防への啓発に努めたいと考えている。

嵐 昭夫 議員



Q 市立病院の医師不足対策は

A 全国レベルでの医師確保が必要（市長）

関係大学の医局に医師の派遣を依頼しているが、厳しい状況である。医療人材求人サイト等を利用した医師の確保が求められる。

Q 市公募の介護施設は予定どおり建設されるか

A 国・県と協議し対応したい（市長）

松が岡町内に施設の整備予定をしていた業者の事業指定打ち切りを受け、国・県・運営協議会と協議し、適切に対応したい。

Q 健康ロードへの防犯灯設置と周辺管理はどうなっているか

A 3カ年事業で一部設置予定（市長）

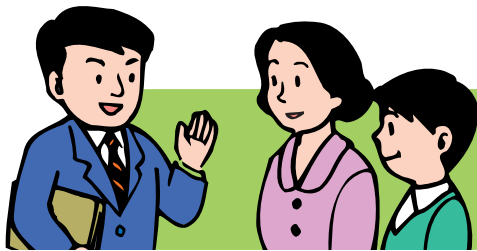
今年度から3カ年事業で岩内町の一部と火釜町から高座町までの区間に設置する予定である。全線設置は慎重に検討したい。

害虫駆除や剪定については、地元と連絡を密に行い、十分に管理を行いたい。

Q 審議会・委員会・検討会の女性メンバー3分の1以上を目指し、若く斬新な意見の取り入れを検討せよ

A 肩書きにとらわれず、清新な人材を起用したい（市長）

未登用部門も含め、有能で意欲的な女性の登用に努めるとともに、より若い世代の意見を行政に反映できるよう配慮したい。



一般質問

青山 利明 議員



Q 景観賞を創設せよ

自然風土に調和し優れた都市景観づくりに貢献している建築物などを選び、それに携わった人たちを顕彰する都市景観賞を創設をせよ。

A 市の特性を生かした都市景観を創造したい（市長）

策定中の能美市都市計画マスタープランや中心街活性化基本計画の中に、都市づくりの基本方針を明示する予定である。

Q 清潔なトイレとせよ

地域住民と協働し、能美市らしい町並づくりと、景観と環境に配慮した自然豊かな美しい都市の形成をすすめたい。

小中学校、公共施設のトイレ

レの洋式化、便座クリーナーなどの設置で、清潔、明るいトイレとせよ。
男子生徒が学校で大便ができない悩みもある。個室化も検討せよ。

A 順次改善をすすめたい（市長）

市内小中学校には各階ごとに一ヶ所の洋式トイレ整備、トイレ内部改修も進めてきたが十分とは言えない箇所もあり今後改善を進めたい。
男子トイレの個室化は考えていない。

Q 公共交通の利用促進を

コミュニティバス利用と入浴券のセットや弱者への割引などせよ。

A 利用促進のため、キャンペーンやPRに努めたい（市長）

バスの利用と公共施設の利用促進を兼ねた企画の実施は利用実態や財政状況等も見きわめながら検討したい。

北村 國博 議員



Q 能美市全体の中で捉えた文化ゾーン構想について

先人が築いた文化・伝統・風土の承継を図り、能美市に存在する各地域拠点の連携と一体感のある能美市文化ゾンの実現に取り組め。

A 地域の個性を生かした地域拠点を創出したい（市長）

能美市のまちづくり指針である第1次能美市基本構想達成に向けてそれぞれの地域の個性を生かして市民や来訪者が集う地域拠点を創出することにより地域の顔づくりを推進していく。

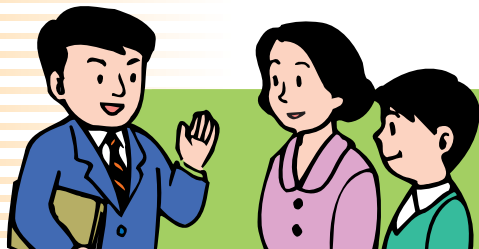
他の主要観光施設との連携強化と交流の活性化を積極的に目指していく。

Q 町会への個人情報提供は個人情報保護法に抵触するか

無闇やたらな匿名社会を回避し町会等の公益性も考慮すべきではないか。

A 今後の事例や経緯を見ながら適切に対応したい（市長）

市役所等が目的外に利用または公益上必要であると判断したときは審査会の意見を聴いた上で例外的な利用・提供ができる規定されているが、町会・町内会に対して、住民基本台帳に登録してある者の個人情報（氏名・住所等）を提供することは公益上の必要は認められないと現在のところ解釈されている。



一般質問

福田

豊 議員



Q 新たに導入された副市長制の運営方針はあわせて高塚副市長の所信を問う

A 合併市に特有な行政課題の事務遂行を（市長）

合併効果促進のため事態に即して副市長に権限の一部委任も考慮していく。

A 能美市の一体化と均衡ある発展のために（副市長）

関係部局を指揮監督し、誠心誠意頑張っていく。

Q 今月（6月）、住民税の税率と税額が上がる市民への説明と今後の対応は

A 広報等で周知したい（市長）

ケーブルテレビやチラシ、広報等で周知。納税相談日を設定。また住宅ローン減税については、所得税サイドで引ききれない分は翌年の住民税から控除される。今後も周知していく。

Q 9月の栄養教諭配置を機に今後の食育について問う

A 栄養教諭を中心これまで取り組みの見直しや充実を図る（市長）

肥満・偏食・食物アレルギーなどの個別指導、学級活動等での集団的な指導、PTAとも連携した朝食問題についての家庭への働きかけなどについて具体策を練っていく。

近藤

啓子 議員



Q 後期高齢者医療保険料の減免を

来年4月から75歳以上の方を別立ての保険制度にし、全ての方から保険料を集める。介護保険料と合わせ月1万円もの保険料が年金から差し引かれる。高齢者への負担があまりにも大きいので、低年金者からは保険料を取らないといった減額・免除を実施せよ。

A 低所得者には軽減措置が設けられる（市長）

保険料については県後期高齢者医療広域連合で検討中であるが、市としても高齢者の実態を十分把握しつつ、負担軽減のため独自の対応を検討したい。

Q 健診制度の充実を図れ

来年度から健診制度がメタボリックシンドロームの概念を取り入れた特定健診制度に変わる。

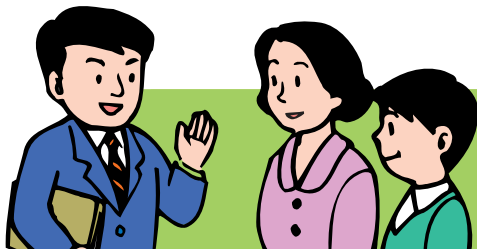
市独自の検診内容追加や、健診の無料化継続など、制度が変わっても現行の健診水準を落とさない取り組みを求める。また、75歳以上及び40歳未満の健診も継続せよ。

A 今後も充実に向け努力したい（市長）

市の医療分析結果から健診項目を検討するとともに、特定保健指導など健診後の指導体制も検討していきたい。

健診費用については、基本的には本人負担が必要と思うが、県下の動向もふまえ考えていきたい。

75歳以上の健診は後期高齢者医療広域連合で実施する方向で検討中、40歳未満は特定健診等実施計画策定の中で検討したい。



一般質問

居村 清二 議員



Q 市民と一体感のある
防災組織立ち上げを

各町内会などの防災組織事業を促進し、市と市民の一体防災組織を早急に立ち上げよ。

A 自主防災組織の結
成を推進したい（環
境安全部長）

自衛消防団だけでなく地域を熟知した人による自主防災組織は必要である。市の自主防災組織整備事業補助金を活用した組織整備を促したい。

Q 第100回九谷茶碗ま
つりを一大イベントに

来年は九谷茶碗まつりが第

100回を迎える。すでに決定しているサンロード会場に、陶芸村周辺を加え2会場で開催してはどうか。
低迷する地場産業への起爆剤として、九谷焼再生元年と位置づけた一大イベントとすべきである。

A 記念行事準備に市も
協力したい（市長）

来年の茶碗まつりはすでにサンロード周辺の1会場で開催と決まっている。記念行事に関しては準備室を立ち上げ、県の支援の下、市も積極的に協力したい。陶芸村は、一年を通じて観光客が訪れる魅力ある九谷焼の里として、全体的な活性化を図ることが必要との提言を受けている。11月の九谷陶芸村まつりのレベルアップと周知徹底に努め、サンロード沿道開催に劣らず盛況となるようにしたい。

視察報告

米軍再編に係る
小松基地訓練移転視察

○日時

平成19年5月18日（金）

○視察先

航空自衛隊小松基地

○参加

議員有志（18人）

既に米軍機の訓練分散移転は日米政府間で日米共同訓練の協定が決まっている中、小松市や議会も訓練移転を承認しており、我々能美市議会も住民の理解を得るため基地での訓練内容説明を受け実際にF-15戦闘機、離着陸の様子を視察した。

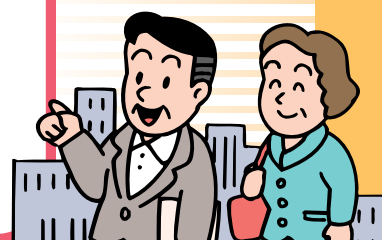
訓練は平成19年5月16日（水）から23日（水）まで（ただし土日は行わない）小松沖空域で行われた。

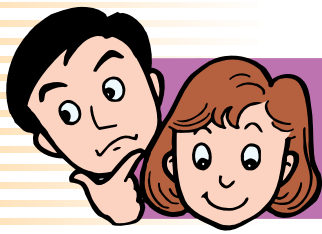


▲広報資料館で説明を受ける議員一同

訓練の安全対策として、訓練期間中、小松基地内に連絡本部を設置し、小松基地や自治体、警察等の関係機関と緊密な連携を図ることの他、あらかじめアメリカ側に安全及び服務の管理・規律に万全を期すよう申し入れを行ったと説明があった。

また騒音対策として、訓練期間中2日間延べ24箇所において騒音測定を実施することであった。





討 論

賛 成

北村 國博 議員

市長は市総合計画の着実な実行に向け各種の施策を展開している。先月13日には県内自治体としては先例の少ない試みとして、手取川河川敷において本市独自の水防訓練が実施された。とりわけ、先般、洪水ハザードマップが各家庭に配布され、洪水時等の不測の事態に迅速且つ適切に対応するための活用が期待される。

能美市国民保護計画の策定についても、有事の際の行動計画を定めたものであり、市民一人ひとりが常に危機管理意識を持つて安全・安心の能美市を創っていくこととする市長の強い決意の表れである。

教育関係では、不登校・いじめ等に対処した能美市教育センターの開設は時宜を得た措置で

あり、今後の教育行政に大きな期待を寄せるものである。その他、条例関係では、都市計画区域における良好な市街地環境の形成とまちづくりの計画的整備を進めるために不可欠な地区計画を定めた条例の制定であり、今後の能美市の発展に繋がるものと確信する。

各報告案件については、地方税法の一部改正及び一般会計、特別会計、企業会計等補正予算の専決処分の報告であり、年度末の事業費確定・決算見込により、所要の補正を行ったものであり、適正な事業執行がなされている。特に平成18年度の決算見込みでは、一般会計において実質2億3千万余の黒字決算の見通しとなり、引き続き健全財政を維持することが出来たことは評価に値する。

今後も能美市の将来を見据えた、安心・安全のまちづくりの推進と発展を願い、今定例会に上程された全議案・報告に賛成の意を表する。

反 対

近藤 啓子 議員

報告第3号「専決処分の報告について（能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて）」には、次の主旨で反対する。

上場株式等の配当・譲渡益は、個人資産の「貯蓄から投資へ」が課題とし、本則税率20%を、平成16年から軽減税率10%とし、5年間の時限措置として導入されたものを、1年間延長するものである。

昨年の政府税調答申は、「現在の経済状況は大幅に改善している」と、「期限到来とともに廃止」としていた。

ところが日本経団連からの働きかけをうけて、与党税調が「1年間延長し、廃止する」ことを決め、延長となるものである。

こうした証券優遇税制は、実際には一握りの富裕層に減税の恩恵が集中する金持ち減税となっており、直ちに撤廃すべきである。

しかも分離課税であり、累進課税である総合課税とすべきである。



総務常任委員会

委員会付託案件 議案 3 件 報告 2 件

- 能美市行政財産使用料条例及び能美市財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例について →原案可決（全会一致）
- 能美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について →原案可決（全会一致）
法律の一部改正に伴い、投開票所の管理者や立会人の報酬を一律に減額するもの
- 能美市自家用有償バス条例の一部を改正する条例について →原案可決（全会一致）
道路運送法の一部改正によるものと、運行路線の一部を変更するもの
- 専決処分の報告について（能美市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市一般会計補正予算（第 8 号））（所管事項） →報告承認（全会一致）

委員会における質疑応答

- Q コミュニティバスの運行路線一部変更の具体的内容は。
- A これまで岩内出口方面の路線において、岩内町、出口町での乗客が辰口福祉会館へ行くために一旦緑が丘まで乗車しなければならなかったものを、福祉会館を経由し乗客を降ろしてから緑が丘方面に再出発する形とした。
- Q 住宅のバリアフリー改修に係る固定資産税減額とは。
- A 自己負担額が 30 万円以上となる工事について、家屋面積 100 平方メートル相当分を限度に翌年度の固定資産税の 3 分の 1 を減額するものである。

産業建設常任委員会

委員会付託案件 議案 1 件 報告 3 件

- 能美市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について →原案可決（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市一般会計補正予算（第 8 号））（所管事項） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）） →報告承認（全会一致）

委員会における質疑応答

- Q 能美市地区計画等の案の作成手続に関する条例について、現在能美市における土地利用の線引き区域と、非線引き区域の二制度があるが、これらと関連があるのか。
- A 特に関連はなく線引きがあるなしにかかわらず、活用できる有効な土地利用規制誘導手法である。
- Q 平成 18 年補正での土木費の道路橋りょう維持費 2 千 80 万円減額の理由は。
- A 暖冬による除雪費等の減額が主なものである。
- Q 天狗橋架け替え事業の事業期間と総事業費はどれ程か。
- A 事業期間は平成 19 年から平成 26 年まで予定しており、総事業費は 26 億円を予定している。
- Q J R 寺井駅周辺整備の取り組みについては。
- A 事業種目をお互に絞り込み、事業を促進させる。
- Q 現在進行中（仮称）ふれあい温泉のボーリングの進捗状況はどうか。
- A 6 月 21 日現在で 118 m まで掘削が進んでおり計画予定通りである。今後 9 月中で掘削を終え、その後揚湯試験などを行い、10 月中に完了予定である。



ふれあい温泉掘削中（辰口福祉会館横）▲

教育民生常任委員会

委員会付託案件 議案 1 件 報告 4 件

- 能美市教育センター条例の一部を改正する条例について →原案可決（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市一般会計補正予算（第 8 号）） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度能美市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 18 年度国民健康保険能美市立病院事業会計補正予算（第 2 号）） →報告承認（全会一致）
- 専決処分の報告について（平成 19 年度能美市老人保健特別会計補正予算（第 1 号）） →報告承認（全会一致）

委員会における質疑応答

Q 教育センターの体制は。

A 職員は 4 名（常勤 2 名・パートタイマー 2 名）で対応。常勤職員の体制（補充等）は今後の状況を見ながら検討していく。

Q 保育園にケーブルテレビの導入を。

A 他の保育園の様子をビデオ録画して見せているが、今後検討したい。

Q イノシシやクマの捕獲・被害状況は。

A イノシシは 27 頭の捕獲実績。9 名の巡回員で 250 時間の出勤。被害状況は野菜・水稻を含め約 65 万円。クマの出没もあり、今年の被害が懸念される。

Q 辰口中学校の体育館解体工事の予定は。

A 工事着手は今年の 9 月 10 日。11 月下旬には敷地造成。来年の 11 月末頃に校舎新築工事完成予定。

Q 旧辰口給食センター跡地、ふれあい広場の能美電の利用の詳細は。

A 来年度予算になるが、電車の中での催し物等も計画。駅の案内板等は県産材を使用したい。

Q 教育委員会主催の中学生議会開催内容は。

A 公民の授業における地方自治の課程で予算成立や議会の仕組みを勉強するために、今年 8 月 21 日午後、市内 3 中学校の各校から 7 名選出し議場を借りて開催する。市役所担当部長・課長に答弁してもらう予定である。

追悼の言葉

去る 6 月 5 日に急逝された故地中孝議員を忍び、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

貴方は、平成 9 年 9 月の旧辰口町議会議員選挙に出馬され、その温厚な人柄と人望をもって見事トップ当選を果たされました。

旧辰口町時代は、総務部常任委員会委員長等の要職を歴任され、役場跡地利用についてや寿保育園の改築、学校共同調理場の新築移転など全身全霊を傾け活動してこられました。

また、合併後は能美市の未来を熱く語り、自分に思いを託してくれた多くの方々に恩返しをするのだと蝕む病魔に対峙し、最後の最後まで議会

活動に専念され、入退院を繰り返す中、さぞや肉体的、精神的に苦しかったであろう中でも、私達や周りの方々を氣遣い元気づけてくれました、貴方の熱い思いは、残された私達がしっかりと受け継いでまいります。

今は亡き、故地中孝議員のご功績とご遺徳を偲び、謹んで追悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げますと共に、天にありましてもご家族のご健勝と、本市発展のための灯であられるようお願い致します。追悼の言葉と致します。

能美市議会議員一同

辰口中学校 道徳教育授業視察

○日時

平成19年5月18日（金）午前9時40分～

○場所

辰口中学校 1年2組・2年1組・

3年2組

○参加

教育民生常任委員他議員有志（15人）

同校では道徳教育を中心とした「心の教育」を平成16年度から2年間、文科省の指定を受けて積極的に取り組んで来た実績があり、その成果を週1回の道徳授業に生かしています。学習面での成績評価、部活動の実績、ボランティアの参加率の高さ等に成果の一端が現れている、とのことでした。

道徳心は社会規範等以前の「人としての当たり前のこと・モラル」の根拠であり、昨今の憂慮すべき少年犯罪や非行等を目の当たりにした時に、改めて道徳教育・心の教育の重要性を認識しました。学校側も生徒の自主性

や企画力のみならず、教職員の力量を高めるためにも今後更に「心の教育」を推進していきたいと抱負を語ってくれました。今回の視察を通じて、参加した議員一同、異口同音に感動し、生徒たちの生き生き・伸び伸びとした姿の中に豊かな心を育み、相手を思いやる気持ちを育てる道徳教育の意義を感じ、学校・地域・家庭の相互理解と連携の必要性を改めて痛感した次第です。



▲辰口中学校 道徳教育授業風景

編集後記

定例会前にご逝去されました故地中孝議員のご冥福をお祈りするとともに、能美市政発展に向けた情熱を継承してまいります。

また、本定例会最終日に荒田議長の退任から選挙により中野新議長が誕生いたしました。

新体制に協力と期待をいたします。

さて本定例会一般質問の中で、地域づくりに「協働型まちづくりガイドライン」の作成に向けて協議会を設置することや市内全域を学習の場とする事業を積極的に展開するとありました。その他、保育園統廃合問題、寺井駅周辺整備の進捗状況などが確認でき、能美市の将来展望が見えてまいりました。

能美市の将来を見据え、市民の代表として行政チェックをしっかり行い、市民の声を市政に活かしてまいりますので、議会や広報特別委員会に対し、忌憚なき意見を要望いたします。

（嵐 昭夫）



広報特別委員会

委員長：小手川 正明 副委員長：嵐 昭夫

委員：倉元 正順 北野 哲 福田 豊